

松川流路工・松川遊砂地で工事をしています

松川流路工では第2床固（阿保原橋下流）、第8号・9号帯工（高速道路下流）の3箇所、松川遊砂地で第2床固1箇所の計4箇所です。

4箇所とも、3月中旬までに竣工する予定です。

工事中はご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、安全第一で工事を実施しますので、ご協力をお願いいたします。

気がついたことがあれば、請負業者もしくは出張所へ連絡をお願いします。

工事位置と範囲

— 今年度工事予定範囲

松川流路工第2床固



松川流路工第8号帯工・第9号帯工

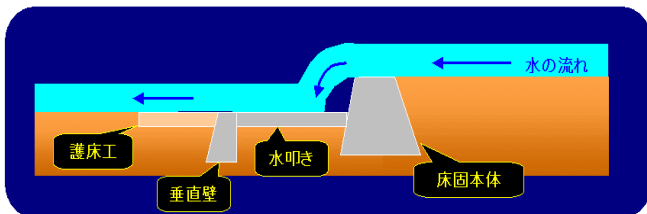


松川遊砂地第2床固

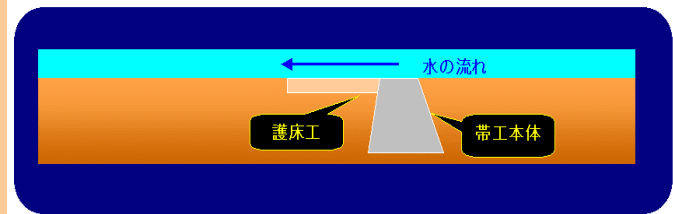


床固工と帯工の役割

床固工：段差をつけることで川の勾配を緩くし、水の勢いを押さえるための砂防施設



帯工：洪水で川底がえぐられないように土砂を止めるための砂防施設



松川砂防工事事故防止連絡協議会 安全パトロールを実施しました



2月12日金曜日、松川砂防工事事故防止連絡協議会主催で工事現場の安全パトロールを実施しました。

工事施工業者から各現場1名ずつ、出張所からは所長始め3名の計6名で、現在松川砂防出張所管内で施工中の現場3箇所全てをパトロールしました。

現場毎に施工業者さんから今月の安全目標と重点実施事項、当日の作業内容や作業人員についての説明があった後、全員で安全施設の設置状況や施工時の安全確認方法などをチェックして不備を指摘し合うとともに、各々の現場で取り入れられるような良い点も出し合って学ぶことも出来ました。

今後も事故防止連絡協議会を継続し、時期を見てパトロールを実施していく予定です。

知ってますか？ 「松川の戦い」について

NHKの大河ドラマ“天地人”を毎週楽しみにご覧になってる方も多いかと思います。天地人は主人公・直江兼続を中心とする上杉家の話ですが、その話の中でも戦国時代末期には福島県は極めて重要な役割を担っていました。

慶長3年(1598年)上杉景勝は越後から会津120万石に移りましたが、当時の上杉領は現在の福島県会津・中通りを含む広大な地域でその支配を豊臣秀吉から委ねられていました。

慶長5年(1600年)関ヶ原の戦いに伴い、福島に攻め込んだ伊達政宗と上杉藩下の福島城城代「本庄繁長」による戦いが「松川の戦い」です。当時、松川は信夫山の南側を流れていて、松川の戦いは信夫山の北側ではなく、南側が戦場となりました。

「松川の戦い」を著している歴史小説として【奇策】風野真知雄 著があります。“松川を利用した本庄繁長の策とは？”興味深い読み物です。(市立図書館で貸出できます。)



よってがんしょ「松川砂防出張所」へ

お気づきの点や知りたいことなど、お気軽にどうぞ！

〒960-2261

福島市町庭坂字遠原三3-4

TEL024-591-1207 FAX024-591-5527

発行:国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 松川砂防出張所

福島河川国道事務所HP: <http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/>

↓国道4号、13号、西道路のみになります



道路の異状は
緊急ダイヤル
#9910

無料 24時間受付

<http://www.fks-wo.thr.mlit.go.jp/keitai/>